

自宅で母と夫を看取り、～「介護」が愛おしい～ 一人になってしみじみ思うこと

「介護って、何することなのか分からない」「大切な人の最期、寄り添いたいけど仕事を離れて介護に専念なんて無理」「少子高齢化、人手不足。自分の老後は、誰が介護してくれる」・・・「介護」という言葉には、どの世代にも様々な想いがあります。介護の在り方も生涯の終わり方も、100人いれば100通り。人間誰しも迎える人生の終わりのこと、76歳の藤原さんは、どう受け止めどう向き合ってきたのでしょうか？

40代で管理職を務めながら母の介護と看取りを経験し、最近ではレビー小体型認知症の夫の在宅介護を続け、自宅で看取るまでを綴った新著「いのちの声：八鳥治久に伴走した日々」を発行した藤原さんの、長年の介護経験や人生観に触れ、「介護と看取り」について一緒に考えてみませんか？

2023年

11 / 30 (木)
18:30～19:45

(終了後、交流会開催 20:30まで ※会場のみ)

プログラム内容 (予定)

- オープニング・ゲスト紹介
- Today'sエキスパート・トーク
- もっと聞きたい！インタビュー
- みんなの声/Q&A
- 交流会 (会場のみ)

※会場参加の皆さんと出演者が自由に交流できる場です。トーク内容の深堀や情報交換の場としてご活用ください。

KK²会場または
ライブ参加の
どちらかを
お選びください



● ゲストエキスパート



ふじわら るみ
藤原 瑠美さん スウェーデン福祉研究者 医療福祉ジャーナリスト

1947年東京都生まれ。清泉女子大学英文別科卒業後、銀座和光に入社。認知症の母の在宅介護、看取りの後に退職し、スウェーデンエスロプ市の高齢者ケアの現場を定点観測。2013年に『ニルスの国の認知症ケア 医療から暮らしに転換したスウェーデン』(ドメス出版)で医療ジャーナリスト協会賞優秀賞受賞。2015年、国際医療福祉大学大学院で医療福祉ジャーナリズム学の博士号を修得。その他著書に『ポケママからの贈りもの一働きながらの在宅介護の記録』『ニルスの国の高齢者ケア～エーデル改革から15年目のスウェーデン』

*2010年「第11回エキスパート・スタジオ」ゲスト



最新刊
『いのちの声
八鳥治久に伴走した日々』
(2023/8/30発行)
※ 書籍販売もあります

● モデレーター

いばの もとあき
伊庭野 基明さん KK²グローバルキャリアカウンセラー



『オンライン投票』
『チャット』で共に考えよう！

このプログラムは、PCやスマートフォンで、Question・コメント・アンケート回答ができる「DPP(デジタルプレゼンテーションプラットフォーム)」*を活用した双方向参加型です。

会場参加の方は是非PCやスマートフォンをお持ちいただきご参加ください。

*特許番号:第6507328号、第6582262号、第7231146号

お申込み方法

一般の方はこちらから



KK2 検索

※KK²Web会員への登録が必要です(無料)

KK²会場(30人) または ライブ配信(500人)

※ライブ配信はスマートフォンでも参加可能です

※インターネット環境が必要です

● 参加費

1,500円 (税込)

※協賛メンバー会員は500円引き ※事前支払(クレジットカードのみ)

学生の方はこちらから



● 参加費

学生:無料